

令和5年度圏域の事業計画・収支計画

(南部地区)

(守山学区
小津学区)

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当学区の民生委員・児童委員、福祉協力委員等、公民館と日頃から連携し、地域の高齢者に関する相談などが迅速にできる関係を構築する。	○		
	支援が必要な高齢者等の情報が届くよう、担当学区内の医療機関、商業施設等にセンターの周知啓発を行う。			○
2 高齢者の実態把握	住民のニーズの発掘を通し、自治会ごとの実態把握に向けての準備を行う。		○	
	地域課題を抽出し、地域活動につなげる準備をする。		○	
3 相談窓口機能	ワンストップサービスの拠点として、関係機関と連携し、支援につなげる。	○		
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。	○		
4 専門的な相談支援	個々のアセスメント能力の向上を目指し、定期的に部署内で事例検討を行う。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	地域におけるネットワーク構築には特に力を入れて取り組んだ。どんな相談でもワンストップ対応するようにし、繋ぐ役割を意識して取り組んだ。学区内の商業施設等への周知啓発については令和6年度強化する計画をしている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	地域関係者との連携や地域のネットワーク構築を行うことができた。今後、3職種の特性を活かし、商業施設への周知啓発等、地域特性に応じた地域活動を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 高齢者虐待への対応	高齢者虐待予防の啓発や通報窓口の周知を行い、虐待の早期発見、防止に努める。			○
	迅速に対応し、虐待につながる背景を総合的にアセスメントし、本人、養護者の両者への支援を関係機関と連携して行う。	○		
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度等を高齢者が適時活用できるよう、周知啓発を行う。		○	
	権利擁護事業、成年後見制度利用の必要な場合は、速やかに利用支援を行う。	○		
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。	○		
	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センター等と連携し、注意喚起を行う。		○	
4 その他	成年後見センターもだまや社協と連携し、成年後見人制度、権利擁護事業の手続きがすみやかに進むよう支援する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	高齢者虐待への対応はケアマネや関係者と密な連携をはかり、背景のアセスメントを丁寧にしながら支援を行った。権利擁護のための諸制度の利用促進支援も積極的にを行い、令和5年度は消費生活センターとの連携で多くの消費者相談にも対応した。高齢者虐待の早期発見・防止に努めるため相談窓口の周知にむけて進めているが、一般市民からも相談しやすいようさらに周知活動が必要である。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫してできている できている 工夫が必要	高齢者の権利擁護のための支援を積極的に実施できた。引き続き、虐待の早期発見・防止のための周知啓発を期待する。		
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	多様な課題を抱える高齢者に対し、介護支援専門員等へのサポートを行う。	○		
	支援困難ケースについては、関係機関と連携し、様々な地域支援を活用し、支援を行う。	○		
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	介護支援専門員の「地域との連携」に関するニーズを把握し、民生委員など地域とつなぐ。	○		
3 地域におけるネットワーク構築	基幹包括とともに地域の主任介護支援専門員、居宅管理者のネットワークの構築を行う。			○
	事例検討会の実施や地域ケア個別会議への参加など介護支援専門員の実践力向上の機会を提供する。			○
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	支援困難ケースへの対応等ケアマネジャーの対応力向上にむけ後方支援として取り組んだが、主任介護支援専門員や居宅管理者のネットワーク構築や介護支援専門員の実践力向上の機会提供はさらに工夫が必要である。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	個別のケース対応において、介護支援専門員の支援を実施できた。今後、地域ケア個別会議等を活用し、介護支援専門員の資質向上や地域ネットワークの構築にかかる支援等を期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。		○	
	家族介護者教室、出前講座等を通して市民への在宅医療、介護に対する啓発を行う。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携サポートセンターやその他、関係機関等との連携を行い、家族が不安なく自宅で介護できる体制を整える。		○	
	難病、ガン末期等のケースは、在宅医療・介護連携サポートセンターを通し、近隣病院の地域医療連携室等と連携を図る		○	
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、スムーズな退院支援につなげる。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	在宅介護医療連携サポートセンターとは担当ケースの役割分担をし、担当間での調整等の連携をおこなっている。毎年行っている家族介護者教室や出前講座ではエンディングノートの活用についても広く周知した。医療機関との密な連携についても努めている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	在宅医療・介護連携サポートセンターや、関係機関と連携しながら在宅療養に向けて支援している。エンディングノートの活用についての周知に努めており、引き続きの在宅医療・介護、在宅看取りについての円滑な支援を期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座を、南部包括で開催する。地域に出向き、正しい知識の普及啓発を行う。	○		
	自治会役員等を対象とした認知症サポーター養成講座の開催をすすめる。		○	
2 認知症初期集中支援の推進	初期集中支援チームと連携し、早期に、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。	○		
3 認知症の人やその家族への支援	感染拡大防止の対策をとりながら、オレンジカフェ「お結びカフェ」を毎月1回定期的に実施する。家族介護者の受け皿としての活用を呼びかける。	○		
	「もの忘れチェック」を随時受付け、出前講座等で実施をPRする。		○	
4 その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録・個人賠償責任保険事業の活用を推進する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	認知症サポーター養成講座の実施だけでなく、より分かりやすい内容での認知症についての講座を実施した。またチームオレンジ立ち上げに向けステップアップ講座を開催し学び合いを深めた。オレンジカフェでは人から人への繋がりで多くの参加者が集まり、当事者・家族・一般、そして男性が多く集まれる場となっている。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	チームオレンジ立ち上げに向けての支援や、令和4年度課題としていた、圏域主催の認知症サポーター養成講座の開催等、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりに向けて支援できた。引き続き認知症の人と家族の支援の取り組みの強化を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 地域ケア会議の開催	支援困難ケースの地域ケア個別会議を開催し、関係機関、地域住民とともに課題解決に向けてとりくむ。	○		
	介護支援専門員に向けて困難ケースの地域ケア個別会議の開催を呼びかける			○
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議で明らかになった地域課題を地域ケア推進会議にあげ、解決のための政策を提言する。			○
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	支援困難ケースの地域ケア個別会議は多く開催したが、介護支援専門員から主体的に個別ケースの事例提供を受けるところまでには至っていない。「民生委員とケアマネの意見交換会」を開催し始めており、そこからつながるように令和6年度は介護支援専門員から主体的に個別ケースの事例提供を受ける場としたい。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	支援困難ケースの地域ケア個別会議を開催することができた。今後は、同様の会議の積み重ねに加え、地域住民参加のものや、振り返り、地域課題の検討等、様々な形での開催の検討を期待する。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を実施する。 男性介護者への参加呼びかけを強化する。	○		
2 家族介護者訪問	「家族介護者訪問」を適宜実施し、介護の実態把握を行い、介護負担の軽減につなげる。		○	
	訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、必要に応じて連携し、介護支援専門員の支援につなげる。		○	
3 その他	出前講座等の終了後に介護相談の時間をもつ。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	家族介護者教室の企画にあたり地域から抽出したニーズを内容に盛り込んだ。また、出前講座の際には終了後臨機応変に個別の介護等相談の時間を設けるなど行った。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	家族介護者教室や家族介護者訪問、出前講座等で介護者の負担軽減の取組を行うことができた。引き続き地域の実情に応じた事業展開を期待する。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 自立支援・重度化防止等への取組	地域の通いの場を介護支援専門員に周知することで、ケアプランへの位置づけを推進する。		○	
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	生活支援等のサービスが必要な場合は、資料や一覧表を活用し、インフォーマルサービスなどの情報提供・利用支援を行う。	○		
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	本人の希望、状況に合わせ公平・中立な事業所選定を行う。	○		
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	南部包括のカフェを始め、介護保険のサービス以外のインフォーマルな社会資源の活用支援を多くおこなった。地域の介護支援専門員へのインフォーマルサービスの情報提供も広くおこなった。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント		
	より工夫してできている できている 工夫が必要	オレンジカフェをはじめ、インフォーマルサービスの周知等実施できている。今後も地域活動の推進等高齢者が住み慣れた地域で自立した生活送るための支援を期待する。		
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和5年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和5年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 介護予防把握事業	出前講座や百歳体操など集いの場の参加者の状態把握を行い、必要に応じて地域役員等と連携する。		○	
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室の内容を再検討し、教室終了後も継続できる内容のものを実施する。終了後フォローアップ講座を行う。	○		
3 地域介護予防活動支援事業	2025年を見据えた介護予防事業を地域で実施できるよう自治会役員等に働きかける。		○	
4 その他	各会館主催の教室において、介護予防講座（出前講座）を1回以上行う。	○		
	小津学区は会館で「いきいきプロジェクト」を継続実施する。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括 過去の介護予防教室の実施後アンケートの意見を参考に内容の再検討をおこない実施し、参加者からも好評を得ることができた。また地域の自主教室の情報提供をおこない、講座終了後も継続して取り組めるようきっかけづくりに努めた。守山市内の高齢化率トップ5の自治会が南部圏域にあることから、地域での介護予防の取り組みを始められるべく各自治会への相談をはじめ令和6年度に具体化に向けた動きを計画している。			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要 ○	コメント 参加者の意見を取り入れるなど、工夫した形での介護予防教室の開催や、地域の住民主体の取組への参加支援等実施できている。今後も、地域の実情に応じた介護予防の取組の推進を期待する。		

(様式 4)

令和 6 年 3 月 31 日

守山市基幹型地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所の選定支援にかかる自己評価表

事業所名 南部地区地域包括支援センター

令和 6 年 3 月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）

居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
小西 醫院	1	要支援受入可能
あいむケアプランセンター	5	受入可能、家族の希望等
ケアプランセンターあやめの里	4	困難ケース対応・要支援可能等
おうみの里ほたる	3	小規模多機能を希望
ケア・サポート愛	13	要支援受入可能、本人希望等
ひびきケアプランセンター	1	要支援受入可能
ゆうらいふ	15	医療職のケアマネ希望、家族希望等
くらしサポート華	8	要支援受入可能、家族希望等
なかさと CCS	2	同事業所のサービス利用予定
ゆいの里守山	7	被災者緊急受入、家族希望等
またあした	7	要支援受入可能、緊急受入可能等
しみんふくし滋賀野洲	4	要支援受入可能等
すこやか生活支援センター	3	要支援受入可能、緊急受入可能
びわこメディカル	3	要支援受入可能、緊急受入可能
ケアプランセンターぽこ野洲	4	要支援受入可能等
周行会	2	難病対応可能、要支援受入可能
守山市社会福祉協議会	1	家族の希望
しがそせい苑	2	要支援受入可能
介護老人保健施設野洲すみれ苑	2	要支援受入可能
ケアプランセンター楓	1	要支援受入可能

＜令和 6 年 3 月現在調整件数 88 件＞

2 居宅介護支援事業所 4 の情報提供方法や決定の支援について偏りがないか。

(いずれか一つに○)

A 公正・中立である

☒ B ほぼ公正・中立である

C 公正・中立に欠けている

＜全体評価＞

居宅介護支援事業所の選択方法として利用者の希望は 88 件中 15 件であり、大多数が圏域センター職員からの情報提供を受けて選択している状況。

要支援のケースが多く、複数の居宅介護支援事業所に連絡し、CM 決定に時間がかかるため、希望するサービス利用まで待ってもらうことが増えている。また受け持ち可能な市外の事業所への依頼も増えている状況である。

令和5年度収支計算書および収支決算書

守山市（南部地区）地域包括支援センター

(単位：千円)

区分	項目		R5 予算額		R5 決算額		R4 決算額		増減
			金額	積算根拠	金額	決算の説明	金額	決算の説明	R5-R4
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	28,898		28,898		28,898		0
	その他収入		0		0		0		0
	収入合計（a）		28,898		28,898		28,898		0
支出	人件費	正規職員	23,380	給与、賞与、社保、退職共済含	21,592		24,763		-3,171
		臨時職員	1,892	給与、賞与、社保	4,351		1,453		2,898
	事務費	報償費	10	外部講師謝礼 福祉用具講習借入謝礼等	0		0		0
		旅費	76	外部研修参加費・旅費	88	内部・外部研修参加費、旅費	76	内部・外部研修参加費、旅費	12
		消耗品費	712	事務用品、複写機使用料、職員制服、日用品等	153	事務用品、複写機使用料（保守）、日用品、等	224	事務用品、複写機使用料（保守）、日用品、等	-71
		燃料費	196	車両燃料費	94	車両燃料費	168	車両燃料費	-74
		印刷製本費	129	配布資料等	122	名刺、求人関係、等	85	名刺、求人関係、等	37
		医薬材料費	60	コロナ関連等（消毒液、マスク等）	0	消毒液等（コロナ感染対策）	57	消毒液等（コロナ感染対策）	-57
		通信運搬費	450	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料	427	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料、切手、等	424	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料、切手、等	3
		保険料	135	車両保険料、施設賠償保険料	135	車両保険料、施設賠償保険	128	車両保険料、施設賠償保険	7
		使用料および賃借料	1,326	車両賃借料、事務機器賃借料	1,377	車両賃借料、事務機器賃借料、Zoom、駐車場、等	1,361	車両賃借料、事務機器賃借料、Zoom、駐車場、等	16
		委託料	324	コピー機・PC関係等保守料、振込手数料等	216	経営、会計、社労士事務所顧問契約、通信機器保守料・職員健康診断・予防接種・PCセキュリティー、サーバー保守、等	221	経営、会計、社労士事務所顧問契約、通信機器保守料・職員健康診断・予防接種・PCセキュリティー、サーバー保守、等	-5
		備品購入費	30	事務用備品等	0		0		
		修繕費	28	車両・OA機器等修繕	0		116	ネットワーク不具合、電話配線、PC修理	-116
	その他雑費	150	茶葉代・他諸経費	161	諸会費、茶葉代・健診費、インフルワクチン接種、水等	245	諸会費、茶葉代・健診費、インフルワクチン接種、水等	-84	
	支出合計（b）		28,898		28,716		29,321		-605
収支差（a）-（b）		0		182		-423		605	

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。